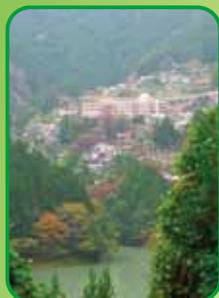


高齢者施設等における

防災マニュアル 策定ガイドライン

～水・食料・医薬品等の確保を中心に～



はじめに

東日本大震災が発生してから4年になろうとしています。この間にも地震、台風、集中豪雨等の災害が各地で発生し、大きな被害をもたらしています。

平成26年2月の、豪雪は西多摩保健所が所管している西多摩圏域にも大きな被害をもたらし、電車、バス、ケーブルカー等の運休、道路の不通による孤立地域も発生しました。たまたま、豪雪が金曜日だったため、翌週に向けた食材の納品を済ませることができた施設も多くありました。しかし、職員の出勤が大変困難になり、出勤できた少ない人数で利用者の健康管理や身の周りのお世話、食事の提供等を行うとともに、敷地内外の雪かき等にも追われるなど、多くの施設が運営に大変な支障を生じました。

また、近い将来に首都直下地震等が発生することが危惧されていますが、東京都は、平成26年12月に「東京の防災プラン」を策定し、都民・地域、企業、行政の取組を通じて、防災体制を整備し、世界一安全・安心な都市を目指しています。

こうしたことを踏まえ、当所は高齢者施設等が多いことから、その防災対策の支援に取り組み、「高齢者施設等における防災マニュアル策定ガイドライン」を作成しました。

本ガイドラインは、施設等で生活する方たちの水、食料、医薬品、トイレ、ごみ処理等生活環境に関する対策を記載していますが、全てを網羅しているわけではありません。

また、災害対策に終わりはありません。本ガイドラインを参考にいただき、それぞれの施設が、施設の状況に応じた防災マニュアルの作成、様々な災害を想定した防災訓練の実施、防災体制の見直しを不断に行い、防災力を高めていただければ幸いです。

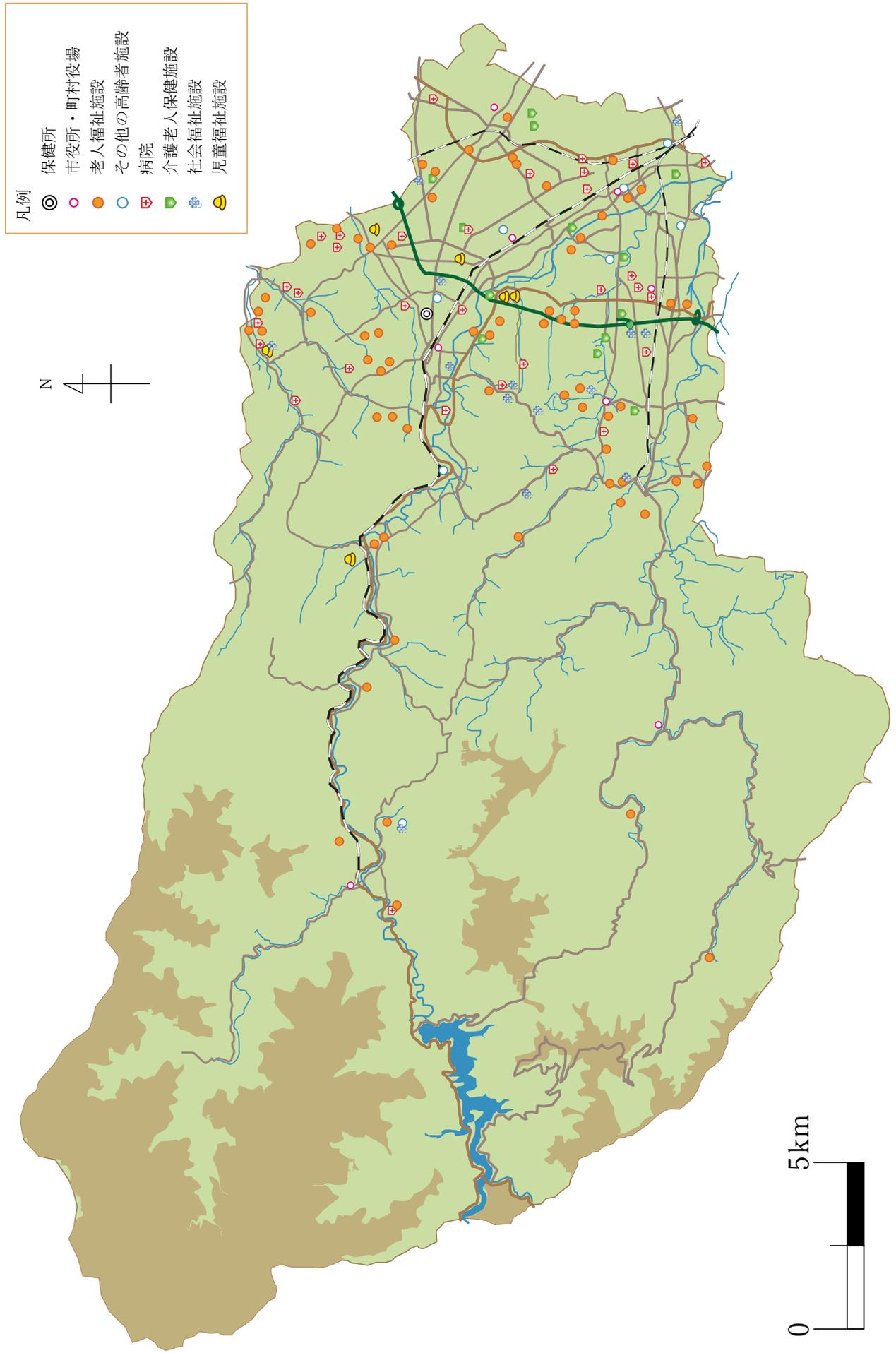
最後になりますが、ガイドラインの作成に当たり、お忙しい中ご協力をいただきました施設、病院の皆様、ガイドライン検討会の外部委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成27年2月

東京都西多摩保健所長

木村 博子

西多摩圏域施設等の分布状況



表紙の写真は管内施設の立地状況と平成26年2月の大雪時の状況の一例です。

高齢者施設等における防災マニュアル策定ガイドライン

～水・食料・医薬品等の確保を中心に～

— 目 次 —

I	ガイドラインの策定	1
II	ガイドラインの基本的な考え方	4
1	ガイドラインの内容	4
2	ガイドラインの特徴	4
3	継続的な見直し・改善	5
III	高齢者施設等における災害対策の現状と課題	6
1	調査の実施	6
2	調査結果及び課題	11
3	施設ごとの課題について～災害時に予想される状況～	12
IV	各施設が取り組むこと	13
IV-1	総論	13
1	ガイドライン総括表	13
2	平常時の対応	16
3	災害時の対応	19
4	復旧・復興期の対応	20
IV-2	各論 生活環境の視点	21
1	食事	21
2	医薬品・衛生用品の確保	28
3	飲料水・生活水の確保	32
4	トイレの確保	40
5	ごみ処理	42
V	参考資料	45
■	各種様式例	
○	防災マニュアル記載チェックシート	47
○	食品、調理・配膳・喫食用の衛生用品の備蓄品リスト	50
○	一般用医薬品、衛生用品等の備蓄品リスト	53

○施設入所者の医療用医薬品の情報一覧	56
○給食施設平常時セルフチェック表	57
○職員連絡網例	58
○緊急連絡先一覧例	59
○施設の災害対策本部組織例	60
○災害発生時のフロー図例	61
○施設内被災状況確認表	62
○災害による給食施設状況連絡調査票	63
■西多摩圏域における高齢者施設等の防災対策支援アンケート質問項目一覧	64
■管内の被災時連絡先	66
■災害時のインターネット情報入手先	66
■関連法令・通知等	67
■参考文献	70
■ガイドライン検討委員等名簿	71